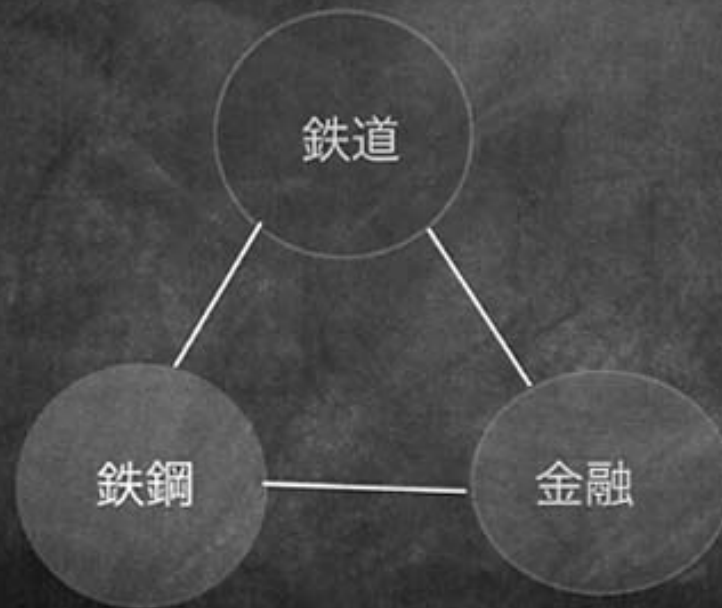


鉄鋼産業における独占の形成

西洋経済史B 第4講

2004年10月29日

19世紀後半のアメリカ資本主義発展の三角形



1873恐慌→

I. 集積・集中の展開(1873-92)／鉄鋼プールの形成

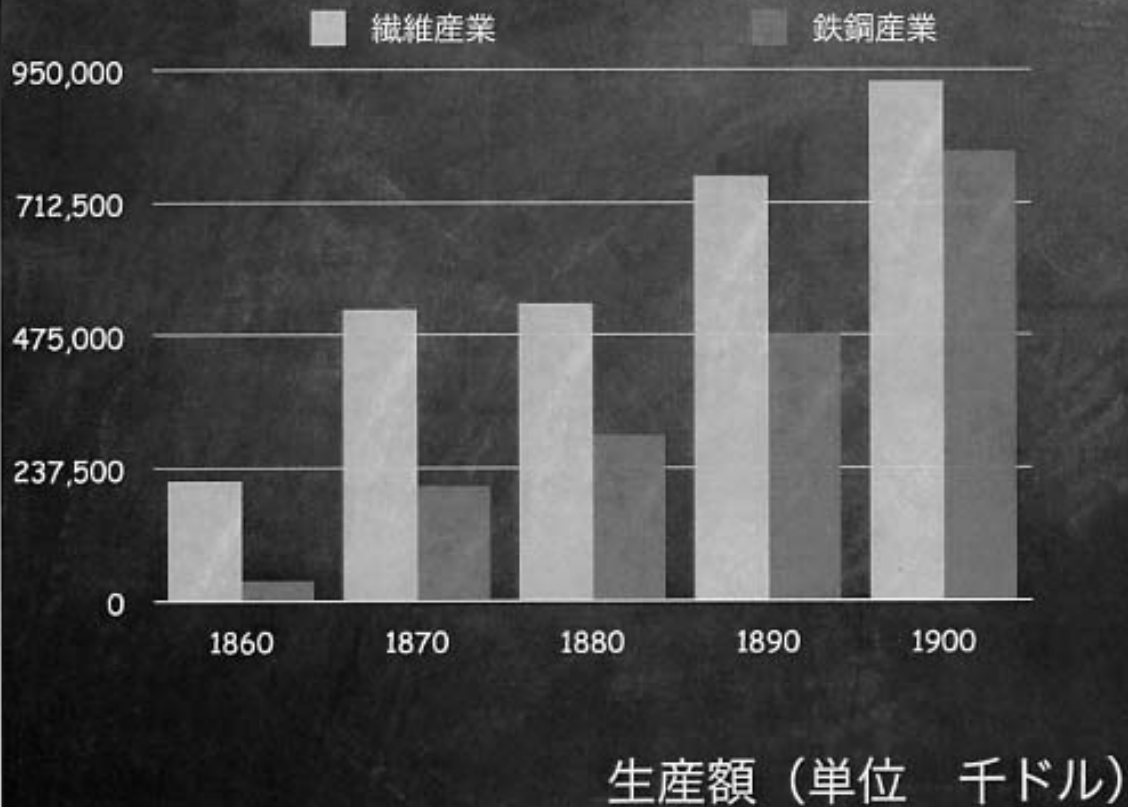
1893恐慌→

II. 勢力再編成(1893-97)／カーネギー制覇

III. 金融機関の介入／鉄鋼企業統合(1898-1900)

IV. 生産協定の成立／USスチール成立(1901-07)

アメリカ繊維産業と鉄鋼産業の発展



7

主要鉄鋼会社の鋼レール生産能力と生産高(1890)

会社名	生産能力	生産高
Illinois Steel Co.	925000	413850
Carnegie Steel Co.	600000	304650
Scranton Steel Co.	225000	182049
Lackwanna C. & I. Co.	225000	138737
Pennsylvania Steel Co.	200000	115077
Cambria Steel Co.	225000	105552
Bethlehem Iron Co.	200000	128262
Colorado Fuel & Iron Co.	120000	80000
合計		1871000

単位 トン

1. 集積・集中の展開(1873-92)/鉄鋼プールの形成

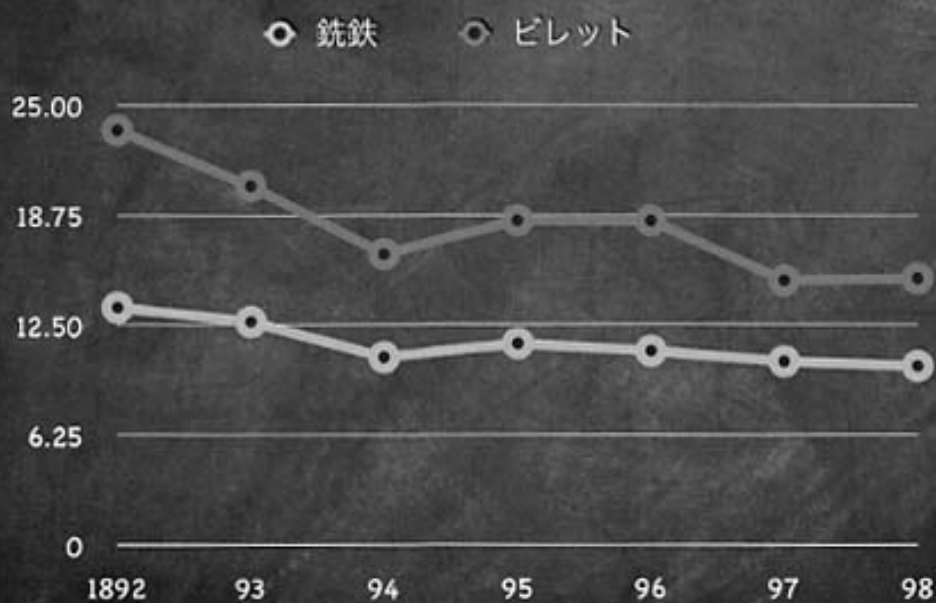
- 鋼レール・プール(1887年8月):全国の生産能力の90%以上占める。生産量を80万トンに限定し、加盟各社の前年度の生産実績に基づいて割当・割当を超過した加盟企業には罰金

● 主要鉄鋼会社

- イリノイ製鋼会社：中西部の3会社の企業合同
- カーネギー製鋼会社：ピッツバーグ
- ラカワナ製鋼会社：ペンシルバニア
- ペンシルバニア製鋼会社・キャンブリア製鋼会社・
ジョンズ・ラフリン製鋼会社・ベスレヘム製鋼会社

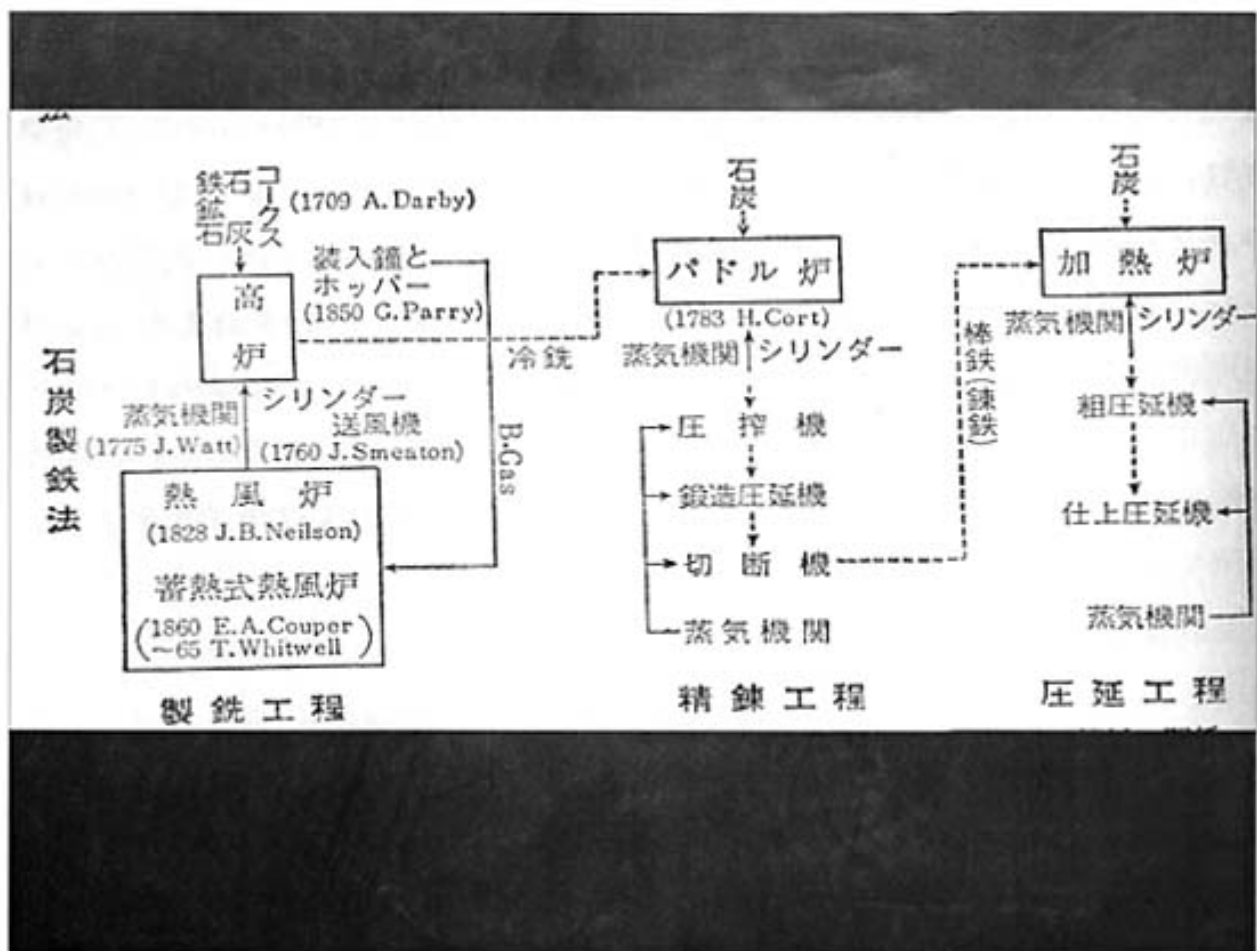
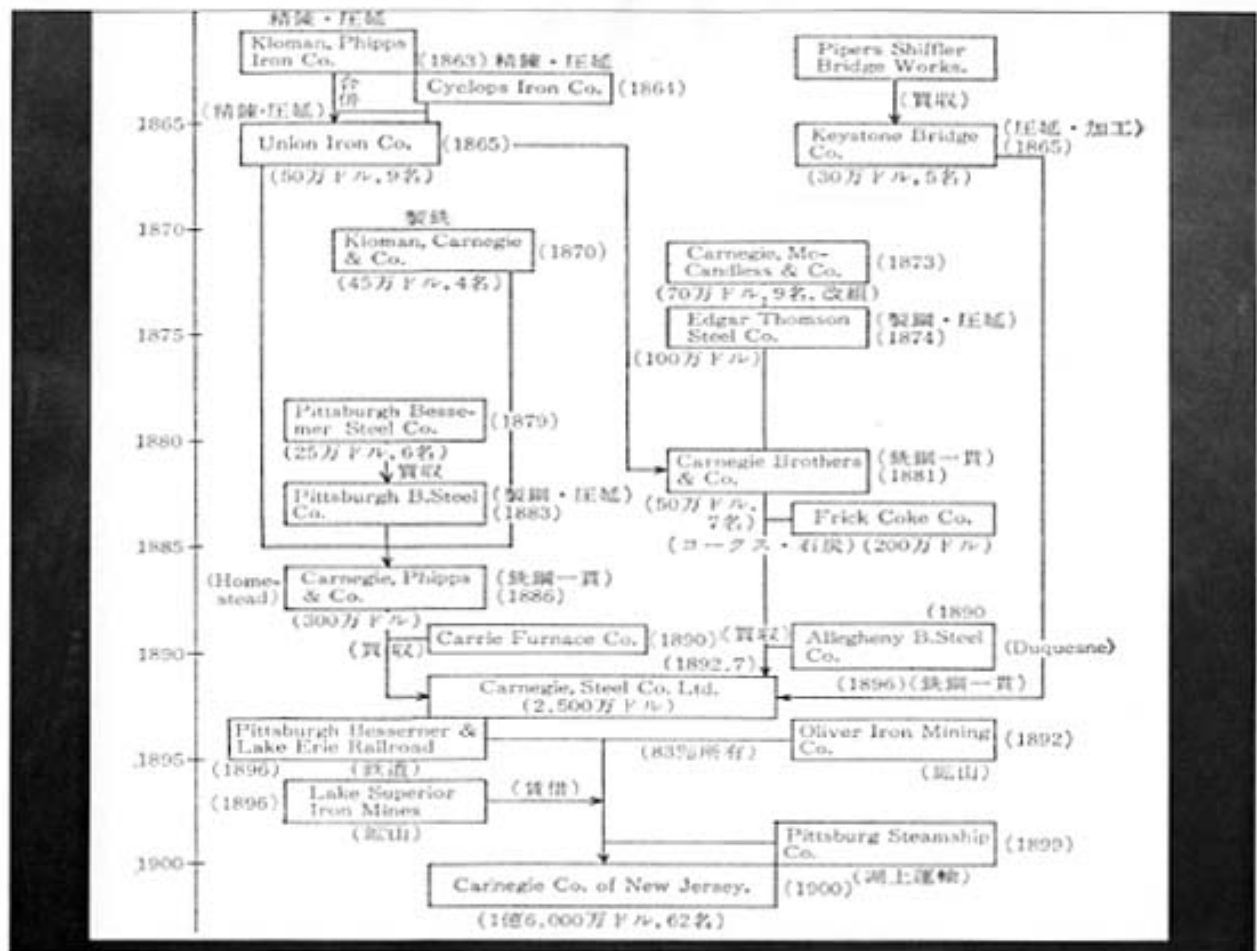
II. 勢力再編成(1893-97) / カーネギー制覇

主要鉄鋼製品の価格の推移 (トン当たり)

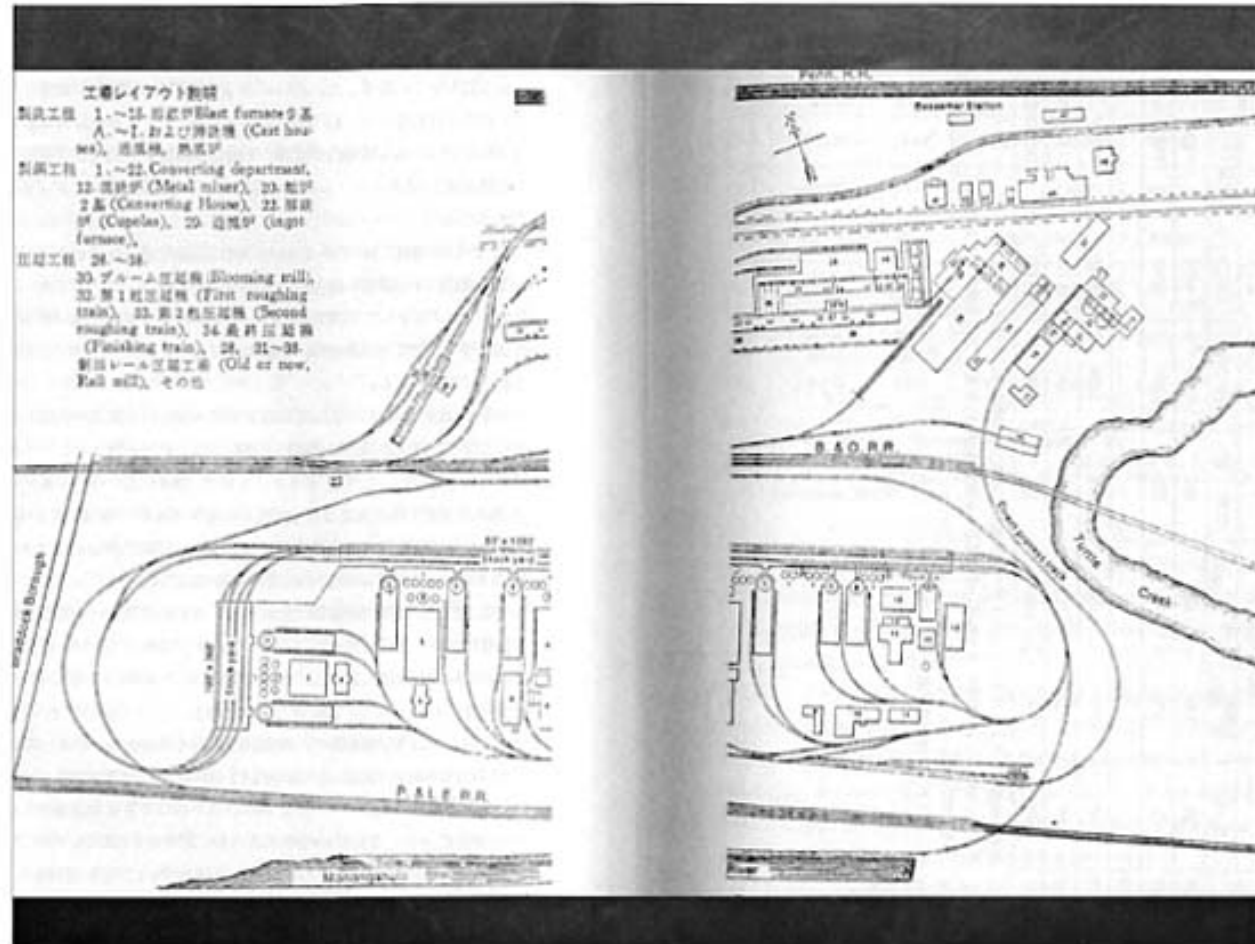
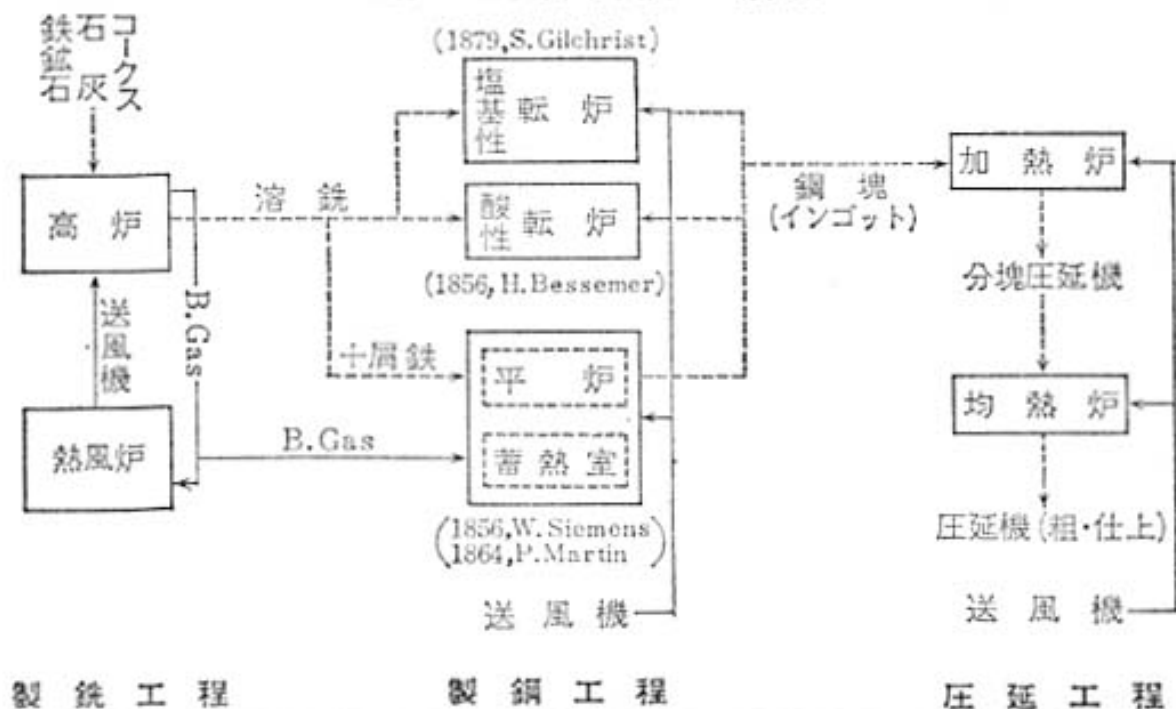


- カーネギー製鋼会社の値下げ攻勢
 - ペンシルバニア製鋼会社→倒産
 - ベスレヘム製鋼会社→レール生産停止
 - →東部レール市場はカーネギーの手中に
 - →西部進出（鋼レール価格を16ドルまで引き下げ）→イリノイ製鋼会社倒産危機

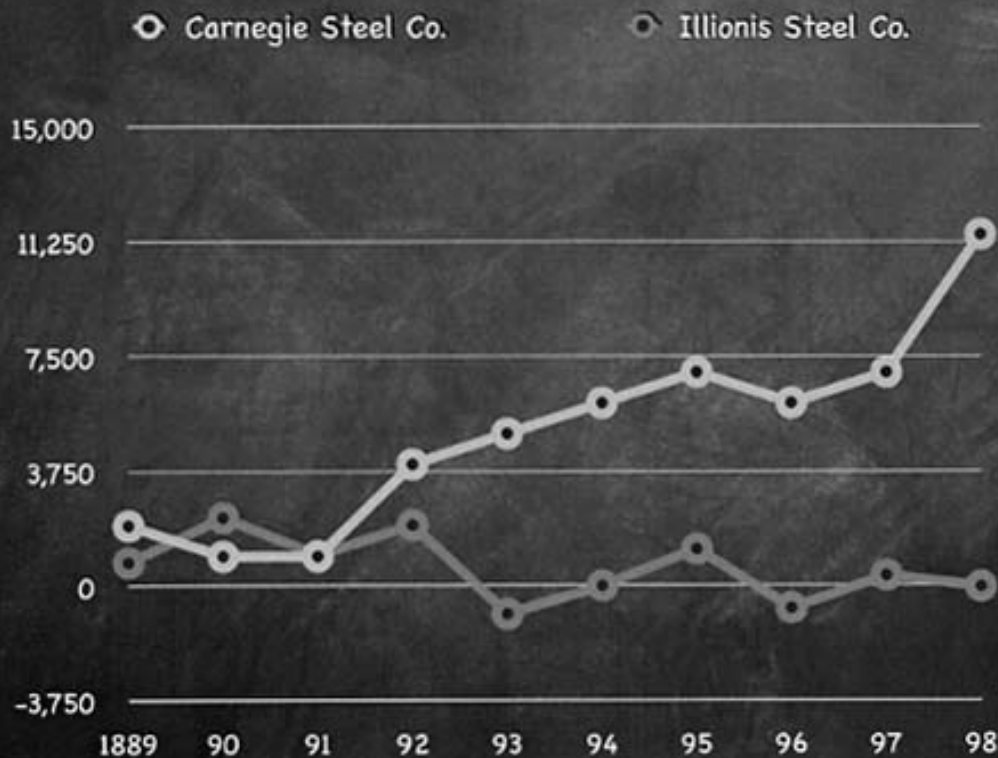
- カーネギー制覇（国内鉄道資材分野ほぼ制圧）の背景
 - 特別運賃に関する協定（1896年ペンシルバニア鉄道）：ピッツバーグ最大の鉄道利用者・主要鉄道会社間の運賃引き下げ競争
 - 生産システム（後述）



鉄鋼一貫製鉄法の成立



カーネギーとイリノイの利益金の推移（単位千ドル）



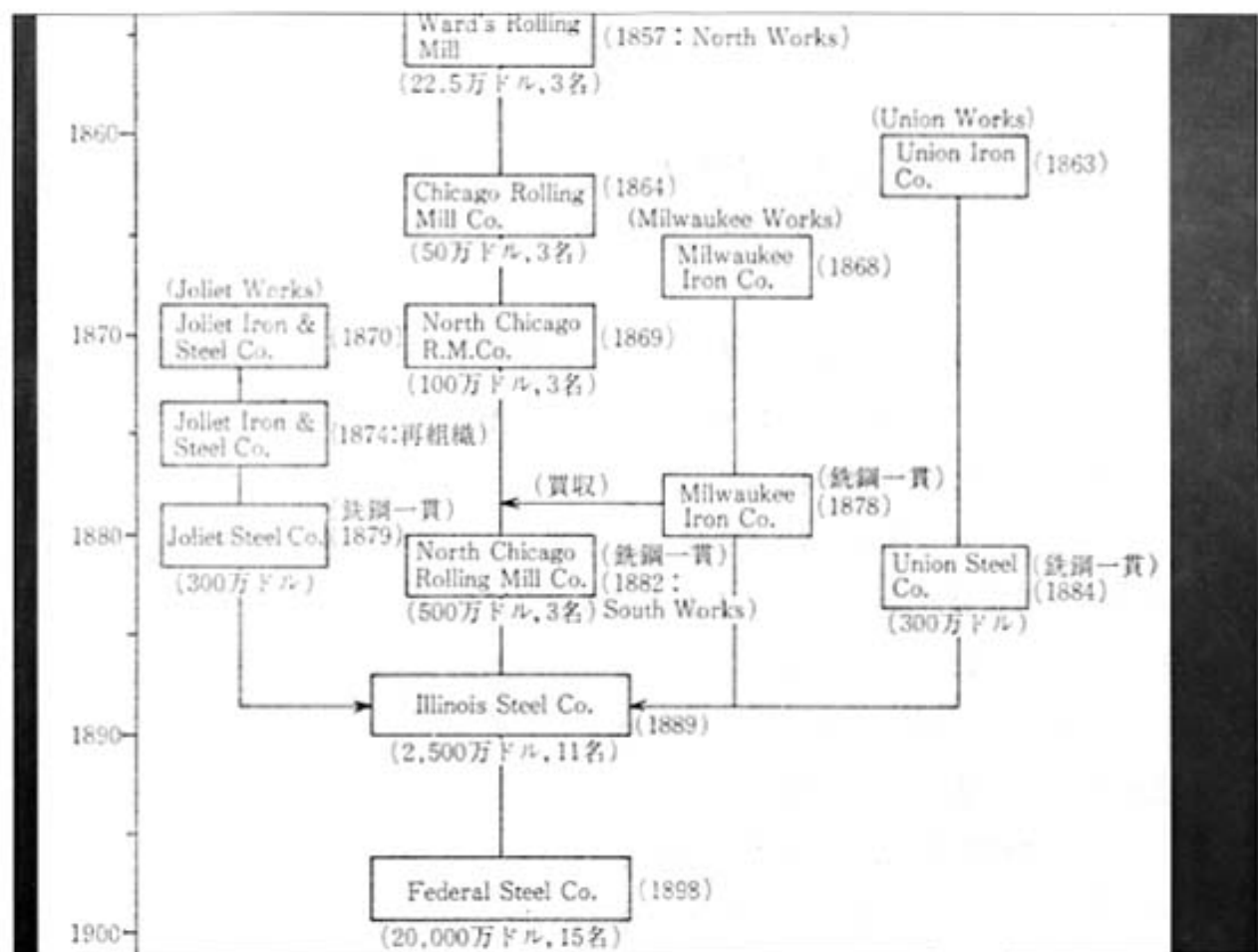
Ⅲ. 金融機関の介入／鉄鋼企業統合(1898-1900)

● モルガン=F.N.B.=ミューチュアル生命

● 1898年 イリノイ製鋼会社再建→同社を中核に鉄鉱山・鉄道・製鋼等5企業を統合（フェデラル製鋼会社）

● 1899年 ナショナル製管会社（13の鋼管会社統合）

● 1900年 アメリカン橋梁会社（東部の24橋梁会社統合）

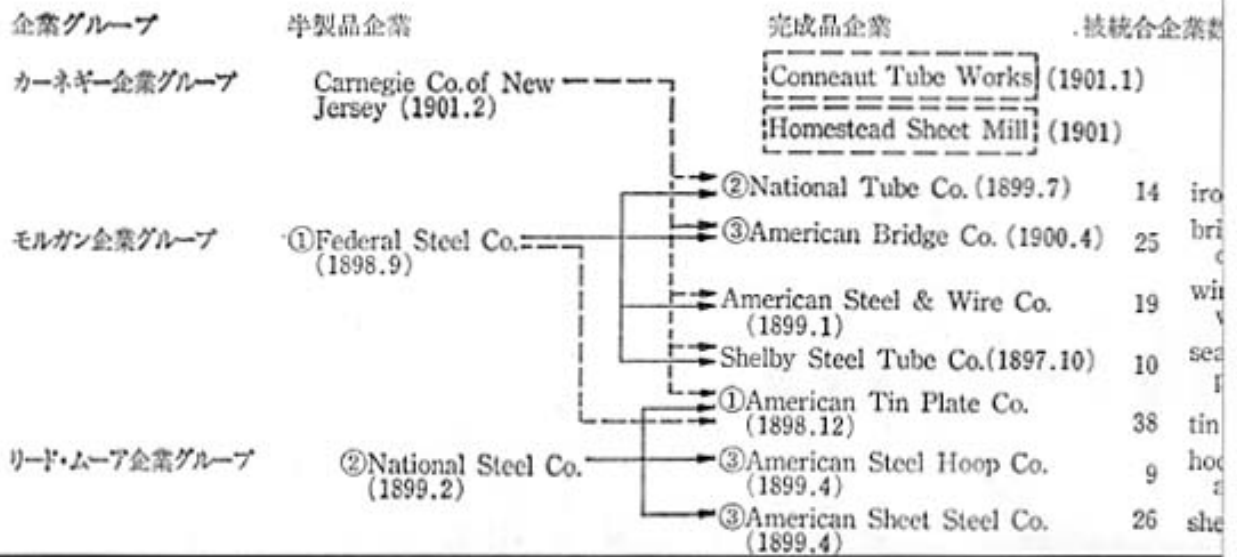


- 鉄鋼企業統合（金融機関進出）の背景
- ①金融集団内の鉄道会社への鉄道資材供給確保（鉄道業における利権維持）
- ②鉄道業の成長鈍化（外延的限界）と一般鉄道需要増大
- ③鉄道業に対する支配力を通じて鉄鋼業進出

IV. 生産協定の成立／USスチール成立 (1901-07)

- IV. 生産協定の成立／USスチール成立(1901-07)
- フェデラル製鋼：①モルガン系金融集団内の鉄道会社との取引により鉄道資材市場における地位を強化
- ②アメリカン橋梁会社自給体制強化
- ③ペンシルバニア鉄道会社、カーネギーとの特別運賃協定破棄し、二倍に値上げ

図 4-3 企業グループ各社間の半製品鋼材の取引関係



- カーネギーの反撃
- ①重量鋼材の設備拡張
- ②鉄構用鋼材強化 (vs アメリカン橋梁会社)
- ③鋼管工場建設 (vs ナショナル製管)
- 1900年 1億ドルの社債をポンド建て発行

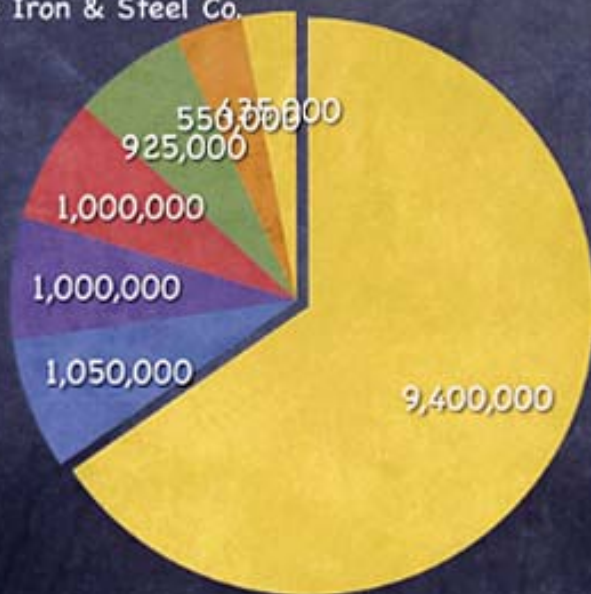
- カーネギー・モルガンの妥協→1901年 U. S. Steel成立（カーネギー製鋼買収）
- クーン・ロープ集団による系列化
 - ペンシルバニア鉄道→ペンシルバニア製鋼・キャンブリア製鋼支配
- ナショナル・シティバンク→ラカワナ製鋼

- 生産協定の成立

- ペンシルバニア鉄道系列鉄鋼会社の拡張計画
- US Steel、ピッツバーグ周辺鉄道網建設計画
- 1905年両者間の相互の業務範囲を規定する協定締結
- →US Steelの鉄鋼業界における支配的地位
- 1907年 ゲーリー晩餐会開始（価格カルテル）

主要鉄鋼会社の鋼塊生産能力(1902) 単位 トン

- U. S. Steel Corp.
- Pennsylvania Steel Co.
- Cambria Steel Co.
- Lackwanna Steel Co.
- Jones & Laughlin Steel Co.
- Colorado Fuel & Iron Co.
- Republic Iron & Steel Co.



主要鉄鋼製品平均卸売価格 価格トン当たり

- 銑鉄
- ビレット
- 鋼レール

